

HSC03-05

会場:102A

時間:5月21日 14:45-15:00

インドにおける土壌収奪の現況 Soil Plundering in India

木本 浩一^{1*}, アルン・ダス², R.B. シン³
KIMOTO, Koichi^{1*}, S Arun Das², R.B.Singh³

¹ 広島女学院大学, ² マイソール大学, ³ デリー大学

¹Hiroshima Jogakuin University, ²University of Mysore, ³University of Dehli

インドにおける経済発展と人口増加は、土地及び土壌に深刻なストレスを加えている。住宅や工場などさまざまな用地の確保が都市周辺部で土地利用・土地被覆に急激な変化を与えていることは周知に属する。農村部では旺盛な食料生産への需要から農地が拡大され、一方で、環境や生物多様性への配慮から森林の保全や植林活動への要請もある。そうした土地利用・被覆をめぐる人間活動のもとで、土壌への圧力も見過ごせない。土壌汚染など局地的に深刻な問題もあるが、本報告では、小規模な土壌収奪や土壌流出がより広い地域スケールにおいてどのような影響を及ぼしているのかについて、カルナータカ州南部、ラジャスタン州東部の事例を紹介しつつ、検討したい。

キーワード: 土壌収奪, インド, 土地利用・土地被覆変化

Keywords: soil plundering, India, land use and cover change